

## イベントのお知らせ

### ☆おはなし会（毎月第2・第4土曜日 11:00～）

会場：吾妻まちづくりセンター 和室

対象：3歳～

内容：読み聞かせ、すばなし、手遊び、工作等



### ☆親子おはなし会（毎月第3金曜日 10:00～）

会場：吾妻まちづくりセンター 和室

対象：乳幼児と保護者

内容：乳幼児向けの読み聞かせ、手遊び等



### ☆利用者懇談会

日時：3月11日(水) 14:00～

会場：吾妻まちづくりセンター 会議室

内容：皆様の図書館への意見や要望をお聞かせください。  
ご参加をお待ちしております。



### ☆昼下がりの名曲コンサート

日時：3月22日(日) 14:00～15:30(開場 13:30)

会場：吾妻まちづくりセンター ホール

対象：一般(子ども入場可。未就学児は保護者同伴)

定員：先着 150名

申込：3月1日(日) 9:30より受付開始(電話可)

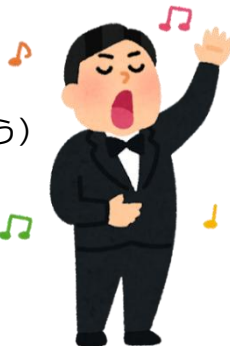
出演：フルート：荒井 純一郎(あらい じゅんいちろう)

バリトン：盧 雲龍(ろ うんりゅう)

ソプラノ：近藤 優子(こんどう ゆうこ)

ピアノ：赤司 美苗(あかし みなえ)

ピアノ：皆川 育子(みながわ いくこ)



## 吾妻分館図書館だより



No.77 2026年2月・3月号

### ▽分館長より

青空の下、梅の花が咲いているのを見つけました。

梅の花といえば、元号「令和」の由来ともなった万葉集の「梅花の歌三十二首」の序文が有名ですね。

元号は、大伴旅人の邸宅で催された梅花の宴の様子を表した序文の一部、「于時初春 令月 氣淑風和 梅披鏡前之粉 蘭薫珮後之香」から採られています。

この一文は「時は新春の令(よ)い月、気はこころよく風はやわらいで、梅は鏡の前の白粉(おしろい)のように白く咲き、蘭は囊の中の香のように薫っている」という意味だそうです。

参考：『日本古典文学大系 5 万葉集 2』岩波書店  
1978年

### 〈内容〉

▽分館長より

▽イベントの報告

▽吾妻分館で話題の本

▽イベントのお知らせ



所沢市立図書館

ホームページはこちら

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です

## イベントの報告 初笑い あづま寄席

1月31日に落語家の入船亭扇橋氏をお招きして「初笑い あづま寄席」を開催しました。演目は「愀気の独楽」「替り目」の二つ。どちらも初笑いに相応しい、楽しくてたくさん笑えるお話でした。

参加者の中には、今回初めて落語を聴くという方や小さなお子さんのご参加もありました。小さなおさんは、おまんじゅうを食べる所作がとても美味しそうだったと、楽しんでくれたそうです。

現在、図書館内には扇橋氏に書いていただいた色紙と落語の本を展示しています。今回の口演で落語に興味を持ったという方は、図書館で落語の本を借りてみてはいかがでしょうか。本の他にCDやDVDも所蔵していますので、是非ご利用ください。



## イベントの報告 クリスマス スペシャルおはなし会

12月20日にクリスマススペシャルおはなし会を行いました。

参加者は定例おはなし会の常連の子や久しぶりに参加する子に加えて、おはなし会は初めてという子もいらっしゃいました。

参加型のすばなしや歌を歌う場面では、積極的に大きな声を出してくれる子が多く、楽しく進行することができ、読み手としてもとても嬉しかったです。

サンタクロースが来てくれて参加者にプレゼントを渡してくれたのですが、サンタの登場に驚いて、思わず叫んでしまう子もあり、とても盛り上がりました。

親子共にとても喜んでくれて好評だったので、来年も参加者が楽しい思い出を持って帰れるようなおはなし会を企画していきたいと思います。



## 吾妻分館で話題の本

～第174回 直木賞・芥川賞 発表～

第174回芥川賞、直木賞が1月14日に発表されました。

芥川賞 『時の家』 鳥山 まこと/著 講談社

『叫び』 畠山 丑雄/著 新潮社

直木賞 『カフェーの帰り道』 嶋津 輝/著 東京創元社



今回、『カフェーの帰り道』で直木賞を受賞した嶋津 輝(しまづ てる)さんは、41歳で小説教室に通い始め、2016年に短編「姉ともうと」でオール讀物新人賞を受賞。2019年には同作を収録した短編集『スナック墓場』で書籍デビューを果たしました。2023年刊行の『襷がけの二人』で第170回直木賞候補となり、今回が2度目の候補入りでの受賞となりました。

『カフェーの帰り道』 嶋津 輝/著 東京創元社

時代は大正から昭和。東京・上野の片隅にある「カフェー西行」は地元の人々の憩いの場。そこで働く女給達の人生を描いた連作短編集。

穏やかな日常の中で特別大きな事が起こるわけではないけれど、それぞれがそれなりにいろんな思いを抱えている。懸命に生きる彼女たちの心の内を丁寧に紡ぎ出す文章に引き込まれます。

同じく大正昭和の時代を背景に女性達の生き方を描いた『襷がけの二人』もおおすすめです。

今回紹介した本は全て所沢図書館で所蔵しております。

予約をする際は、職員にお声掛けいただくか、館内OPACもしくは所沢図書館ホームページでパスワードを使ってログインし予約をしていただけます。パスワードはホームページでも発行できるようになりました。ぜひご利用ください。